【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】令和7年2月19日(2025.2.19)

【国際公開番号】WO2024/189964
【出願番号】特願2024-503952(P2024-503952)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｊ 43/20(2006.01)
Ｈ０１Ｊ 1/90(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｊ 43/20
Ｈ０１Ｊ 1/90

【手続補正書】
【提出日】令和6年1月22日(2024.1.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
入射光を光電子に変換する光電面と、
複数の電極と、
前記電極同士を電気的に絶縁した状態で保持する絶縁性基板と、
前記電極及び前記絶縁性基板を収容する筐体と、を含み、
前記絶縁性基板は、
多結晶材料からなり、電気絶縁性を有する基体層と、
アモルファス材料からなり、電気絶縁性を有する中間層と、
カーボンを含む材料からなり、前記中間層よりも電気抵抗が小さい表面層と、を有している、電子管。
【請求項２】
前記表面層は、アルカリ金属を更に含む、請求項１記載の電子管。
【請求項３】
前記中間層の厚さは、前記表面層の厚さより大きくなっている、請求項１記載の電子管。
【請求項４】
前記中間層の厚さは、前記表面層の厚さより大きくなっている、請求項２記載の電子管。
【請求項５】
前記カーボンを含む材料は、金属の酸化物、金属の窒化物、及び金属のフッ化物の少なくとも一つを含む材料を基材とし、前記基材中にカーボンを含む、請求項３記載の電子管。
【請求項６】
前記カーボンを含む材料は、金属の酸化物、金属の窒化物、及び金属のフッ化物の少なくとも一つを含む材料を基材とし、前記基材中にカーボンを含む、請求項４記載の電子管。
【請求項７】
前記中間層及び前記表面層は、少なくとも前記基体層における前記電極側の第１面と前記電極と反対側の第２面とに設けられている、請求項１記載の電子管。
【請求項８】
前記中間層及び前記表面層は、前記第１面と前記第２面とを接続する側面に設けられて

いる、請求項７記載の電子管。
【請求項９】
前記基体層は、前記電極を保持する保持片が挿入される挿入孔を有し、
前記中間層及び前記表面層は、前記挿入孔の内面に設けられている、請求項７記載の電子管。
【請求項１０】
前記中間層及び前記表面層は、前記基体層の表面の全体に設けられている、請求項７記載の電子管。
【請求項１１】
前記中間層及び前記表面層は、同じ材料によって構成され、
前記中間層におけるアルカリ金属の含有量は、前記表面層におけるアルカリ金属の含有量よりも小さくなっている、請求項１～１０のいずれか一項記載の電子管。